



2024年「読書週間」が始まりました！

今年の読書週間は、10月27日（日）～11月9日（土）です。そして、今年の標語は「この一行に逢いにきた」です。

一冊の本との出会いを通じて、登場人物と自分自身を重ね合わせて、本の中の世界に夢中になった経験や、本の中のことはに支えられた経験がある人は少なくないのではないのでしょうか。

私は作家の伊集院静さんの著書が大好きでよく読んでいたので、昨年お亡くなりになった報道を耳にした時には、とてもショックでした。伊集院さんの数々の著書からは、※人生の機微（きび）を教えていただいたような気がします。あるエッセーで「働く」ということについて、以下のようなことを書いていらっしゃいます。

※人生の機微とは「人生における繊細な感情や心の動き、人情」のこと

「大人たちの後ろ姿とはいったい何か。それはやはり、働く姿だと思います。なぜならば、生きるということは働くことだからです。一生懸命に仕事をしている両親の後ろ姿。それを見せることが最高の教育ではないのでしょうか。ならば仕事とは何か。答えは簡単です。朝に目が覚めて、まず最初に考えること。それがすなわち、その人の仕事なのです。

農業を営む人は、目が覚めるとまず今朝の気温はどうだろうか、と考えます。畑に霜が降りていないだろうか。作物は大丈夫だろうか。また、漁師たちはまず考えます。今日の風はどうだろうか。海は時化していないか。船を出せるだろうか。

休日に何をして遊ぼうとか、今日のお昼は何を食べようとか、彼らはそんなことは考えない。目が覚めて最初に考えるのは作物のことであり、その日の漁のことで。

（『つながりこそ救い』より）

この文章に出会ってから、自分はきちんと仕事に向き合っているだろうか、娘たちに恥ずかしくないような仕事ぶりだろうか、時々自問自答することがあります。

生徒の皆さんも、ぜひ、この機会に一冊でも多く本を手にとって読んでみてください。心に残る一行に出合えるはず。図書室には新刊もたくさん準備されています。

保護者の皆様も、お子様と一緒に秋の夜長に、テレビを消して、スマホを置いて、読書に耽（ふけ）ってみてはいかがでしょうか。



《本校図書室》

前号で紹介した表彰伝達の続きです。多くの人を紹介できてうれしく思います。ますますの活躍を期待しています。以下に紹介します(敬称略)。

- 佐世保スポーツマンズ競技大会陸上競技 中学 2.3 年女子 4×100m リレー 第1位
2-2 金子 夕海 2-2 有川 乃愛 2-1 桑代 凜 2-2 赤木 愛理
〃 中学 2.3 年男子 4×100m リレー 第1位
2-1 中元寺 泰知 2-1 加藤 春希 2-1 濱里 一颯 2-5 坂本 遼介
〃 中学 1 年男子 4×100m リレー 第3位
1-3 田中 颯太 1-2 深野 椋平 1-1 垣上 龍雅 1-2 田嶋 海主
- 長崎県中学校新人大会陸上競技 男子 2 年 走幅跳 第2位 中元寺 泰知
〃 男子 2 年 100m 第1位 坂本 遼介
- 佐世保スポーツマンズ競技大会水泳競技 中学混合 4×25mメドレーリレー 第1位
2-3 平野 伶奈 2-3 金子 和奏 2-2 土屋 翔海 2-2 白石 滉明
〃 女子 4×50m メドレーリレー 第1位
1-1 緒方 陽和 1-2 坂井 愛莉 2-3 金子 和奏 2-3 平野 伶奈
〃 女子 4×50m フリーリレー 第1位 緒方 陽和 坂井 愛莉 金子 和奏 平野 伶奈
〃 女子 1 年 100m 自由形 第2位 緒方 陽和
〃 女子 1 年 50m 自由形 第2位 緒方 陽和
〃 男子 2~3 年 100m 自由形 第3位 土屋 翔海
〃 女子 2~3 年 50m バタフライ 第2位 金子 和奏
- 赤い羽根クオカードデザイン募集 佳作 2-3 尾崎 桃香
- 第7 2 回佐世保市中学生バスケットボール新人大会 男子 第3位
- 秋季中学校バドミントン選手権大会男子団体 B パート大野・山澄中学校合同チーム 第3位
2-3 湯川 颯一郎 2-3 永田 輝 2-4 矢野 虎太郎 2-4 宮下 愛斗

校長のひと一言⑬

諸説あるようですが、旧人類のネアンデルタール人と現生人類のホモサピエンスを比べると、ネアンデルタールの方が、肉体的にも、脳容量の観点からも優れていたそうです。しかし現在、ネアンデルタール人は滅び、生き残っているのは私たちホモサピエンスです。

二つの人類の運命を決めたのは、コミュニケーション能力だったそうです。ホモサピエンスの脳は小さいけれども、コミュニケーションを図るための小脳が発達していたことが知られています。遺跡からは歯が一本もない、手足が不自由な骨も見つかっていて、集団で助け合い、社会グループを形成することで生き残ったと考えられるということです。

現代においてもコミュニケーション能力はとても大事です。合唱コンクールでは、合唱ををよりよくしていくために様々な話し合いを行ったと思います。学校では、学級での生活や部活動などで、多くの人たちと交流していきます。それらを通じて、価値観が同じ友人はもちろんですが、自分とは違う考えを持った人とも積極的にコミュニケーションを取っていくことが、自身の成長に必ずつながるはずです。

「人間は一人では生きていけません。必ず誰かの世話になり、他人を傷つけ傷つけられながら生きていくのです。それが人生です」

〈瀬戸内寂聴(せとうち じゃくちょう)さんのことば〉